

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年4月25日			
平成15年度	事業コード		電話	042 - 769 - 8339
担当部課名	総務部	職員厚生	課	健康管理 係
事務事業名	職員健康管理事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	63以前 年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

労働安全衛生法、労働安全衛生規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
職場における市職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。	市常勤職員、市非常勤職員
	対象数 5,220人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
法令等に基づき、定期健康診断・特殊健康診断・予防接種及び健康診断結果に基づく事後指導・健康相談等を実施した。 総事業費 90,038千円 委託料 89,861千円 役務費 48千円 需要費 118千円 旅費 11千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	定期健康診断受診再検者率	再検査数 / 受診者数 * 100	再検査率を示すことにより、職員の健康度を表す。	12	13	14	15	16
				35	39	36	35	35
活動指標	定期健康診断受診率	受診者数 / 対象者数 * 100	定期健康診断は、全員受診となっており、また、健康管理の基本となる。	993	992	992	995	995

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	88,938	90,737	90,038	87,985	87,985
人員・時間数	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人
人件費	9,889	9,797	9,968	9,981	9,981
その他経費					
合計	98,827	100,534	100,006	97,966	97,966
特定財源					
対象数	4,954	5,081	5,230	5,220	5,220
対象の単位あたり経費	19.9	19.8	19.1	18.8	18.8

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	定期健康診断の受診率は高く、健康についての関心度は高いが、再検査率は年度によりばらつきがある。職員の平均年齢が高くなっており、再検査率の上昇は避けられないと考える。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 健康診断等の健康管理業務は事業主に実施が義務づけられており、必要な事業である。また、年齢や業務上の危険性を加味して、法定外項目も実施している。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	安全や健康を、職員個人の問題として捉えるのではなく、組織全体の問題として認識をし、その保持・増進対策を総合的かつ計画的に推進することは、組織の活性化や公務能率の向上など行政の円滑な運営を図る点からも有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 他市においては、定期健康診断を人間ドックに代替えて管理しているところが多く、未受診者の把握や受診者のデータ管理及び保健指導が徹底できないという問題を抱えているが、本市の様に全員受診にすることにより効率よく指導ができる。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	全員受診の定期健康診断の他に業務の特殊性に応じた健康診断及び予防接種を実施している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 疾病予防・健康増進の観点からのアプローチを進めていくことで、職員の健康の保持・増進がはかれる。	手段	平成15年度に向けて、定期健康診断の実施時間について、午前中のみから1日に延長し、実施期間を短縮することで単価を下げた。
		削減額	4,700 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		健康診断等の事業の実施は、法的に事業主に義務づけられているため、他自治体でも実施している。健診や予防接種等の内容に関しても大きな差はない。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 職場における健康管理の役割として、職員の健康状況を把握して、異常を早期に発見すること。疾病の進行を防止したり、健康状態の回復をするための衛生管理的な措置をすること。疾病の予防や健康の保持増進を図り、労働適応能力を向上させることなどがあげられる。職場の健康状況のレベルを上げるためには、の取組みが重要である。今後も積極的に取り組んでいきたい。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--